

平成 21 年度 第 5 回子育て・環境・魅力づくり部会

□開催日時 平成 21 年 10 月 2 日（金） 午前 9 時 30 分～11 時 30 分

□会 場 幸区役所プレハブ会議室

□参加委員

専門部会 B 委員：今井部会長、神谷副部会長、石野委員、酒井委員、庄司委員、菅野委員、沼田委員、深瀬委員、松脇委員

事務局（企画課）：渡邊課長、高相課長補佐、蓬田課長補佐、小出主査、齊藤職員、小俣職員

□議 題 1 「地域コミュニティ活動の推進」について

2 その他

□開会

司会：渡邊課長

- ・渡邊課長が開会のあいさつをしました。
- ・会議の公開について、事務局から委員の了承を得ました。

□飛鳥山モノレール視察報告

進行：今井部会長

- ・庄司委員が、パワーポイントを用いながら 9 月 9 日（水）に実施した飛鳥山モノレール視察の概要について説明をした後、当日参加した委員が、感想、意見を述べました。

（松脇委員） もともと 12 万人来ていたのを、モノレールを整備することで 15 万人にする計画だったけれど、今現在 19 万人来ているそうです。土日に 1,200 人、平日に 800 人で、平均一日 1,000 人とすると、年間 36 万人になります。ものすごい効果です。飛鳥山の活性化以外にも、商店街などへの波及効果があり、威力がすごいです。

経済効果だけでなく、孫を連れておじいさんの顔を見たら嬉しそうでした。お金にならないものを残すことも、幸区民にとっていいと感じました。

（神谷副部会長） 数字では表せないところで、良い効果がこの後現れると思いました。点検などの都合で 10 時から 4 時までしか動いていません。それも延長されるでしょう。イベントの時は延長するなど、そのときの状況に合わせていました。ここでは人を呼び込む魅力を増やしたので、モノレールも活用できています。夢見ヶ崎は、その点では弱いと思います。

（酒井委員） 夢見ヶ崎と比べて、まず足の便が良いです。整備されすぎた公園で、出来上がっています。そのためには、夢見ヶ崎も公園を整備しないといけません。比べ物にならないと思いました。特に、日吉の 17 町会がもう少し盛り上がってくれると協力できるようになると考えました。

（松脇委員） 機会があれば、日吉地区の会合の時に、「こんなアイデアがありますね」と示すと議論が出来るかも知れません。

（神谷副部会長） 飛鳥山も平成 2 年から長いスパンで進めていました。夢見ヶ崎も明日、明後日という問題ではないでしょう。

（今井部会長） 飛鳥山の広さと夢見ヶ崎の広さを教えてください。

（事務局） 飛鳥山が 7.3 ヘクタール、高さ 25.4 メートル、夢見ヶ崎が 6.6 ヘクタール、高さ 35 メ

ートルです。

(菅野委員) 加瀬山の民間地はどのくらいですか。

(事務局) 公園地として6.6ヘクタールですから、民間地は除いているかも知れません。

(庄司委員) 大変広く感じました。

(事務局) 斜面が切り立っていて、登り坂を上がって裏が市街地で平らになっています。

(庄司委員) 夢見ヶ崎は斜面で面積を取っているんですね。

(菅野委員) まちづくり推進委員会の中でも、来年の3月までに夢見ヶ崎動物公園の将来性をどう考えるか、園長さんと勉強会を開こうということを考えています。僕たちが先日区民会議で行ったときに、下にも市の土地があり、そこも使いたいと言っていましたので、そこを聞こうではないかと考えています。それは区民会議ではなく、まちづくり推進委員会で動かなくてはいけないと討議しています。

今、酒井委員が言ったように、17町会では討議されていませんが、ある町会長さんが、エレベータやエスカレータは反対だと言っています。また、夏には動物の臭いが流れてくるという声もあります。将来の発展をどうするかを確認し、区民がまず加瀬山を大切に、育てていく立場にきちんと立たせないと、エレベータはその後の問題です。そこを抜きにしてやると、地域交通でもバスを通そうと言っても、本体の動物園がどうなるかが不明確ではどうにもならないのではないかとこの意見があります。それとのかね合わせで全体を見ていきます。

(松脇委員) 菅野さんの意見もその通りですが、両方でやっていかないといけません。まちづくりは魅力を作る。区民会議では上るところがないので作ろうと。優先順位ではなく、一緒にやると行けると良いでしょう。

(庄司委員) 皆さんの意識が高まることで、町会ももう一度検討しようという風に、一緒にやれるかも知れませんね。

(今井部会長) 区民会議として、モノレールを積極的にアピールし、こういったものを整備しませんが働きかけをするのかをはっきりしないと、莫大なお金をかけて区民が喜ぶのかという問題があります。その辺を慎重に行かないと、区民会議がモノレールを付けろと言っているように聞こえても困ります。

(松脇委員) 強制的ではありませんが、一方で皆さんの頭にバスしかないとする、バスはCO₂を出します。モノレールは環境にも良いです。バスではなくモノレールもありますと提案すれば、また感じが違うでしょう。

(今井部会長) モノレールは今の話ですと、整備に2億数千万円かかり、ランニングコストが年間1,000万円かかります。飛鳥山とかなり違うのに、それだけのことをするのか。その辺をよく考える。動物公園の職員の負担、動物の負担も増えますから、どういうやり方を望んでいるのかを慎重にやらないといけません。

(松脇委員) そうだけれど、あまりマイナス面を考えると進みません。30万人の人が使うなら、例えば50円取ればそれだけで1,500万円です。これからどうやってリカバーするかを考えていかないと、前へ進みにくいと思います。

(庄司委員) 見に行くと、良い発想のきっかけになりましたし、長い時間をかけて進めるということがわかりました。

(今井部会長) 高齢者や障害者が上れないのであれば、今でもマイクロバスの運行を町内会などがグループで行っているらしいです。そういったやり方を地道に続けていく。日吉出張所に電動車

椅子を置いてはどうかという話も聞き、なるほどと思いました。あまりお金をかけずにどうするかという案が、皆さんに聞けばあるでしょう。あまり観光地的にして人が来られても、職員や動物の負担が増えるという声もあります。区民会議としても慎重に、穏やかに議論する。あとは盛り上がりです。作ったはいいけれど、回りの町内会や商店会の気分が高まらないと無駄遣いと言われます。その辺をきちんと皆さんで議論して進めないと、次々と進めてもいけないので、話し合いをじっくりした方がいいかなと思っています。

(酒井委員) 昔、山の上でやっていた行事が操作場跡地でやるようになりました。これは坂の関係だと思います。社協が日吉地区にあり、行事があるときはボランティアが車椅子で運んでいます。

(今井部会長) モノレールができるとその人たちの負担が軽減され、まちづくりができるようになるかという、そこには結びつかないと思います。動物公園の将来像を考えてやっていかないといいません。

(松脇委員) 先日、桎園長に話を聞いたときには、動物園にはもっと多くの人に来てほしい、負担についても、コンサートをして動物は怖がらないから、もっと園を活性化して、動物のお菓子でも作り、それを広めるくらいに来て欲しいと考えていると僕は感じました。彼は夢を語ってくれたように思ったから、僕たちもそれを進めていく一つのファクターになっていると思います。

(今井部会長) 地元の方や市内の方にコミュニティの場として活用して欲しいということは同じだと思います。ただ、あまり観光地っぽくするのはどうなのかと思います。

(菅野委員) 了源寺の方では、皆さんが活動していただければ、うちの方も宣伝になるからと言っていました。天照皇大神の方も、日吉地区の郷土史家ですし、理解はもっているはずです。加瀬山全体をどうするかは、まず、まちづくり推進委員会では動物園の方向性を聞き、それから了源寺や天照皇大神、熊野神社の意見を聞いていこうという視点は持っています。

(松脇委員) 僕たちが心配しているのは、慰霊祭なども来ていた人が高齢化して上れないからと開かなくなることです。動物園まつりも5、6年前は7~8,000人来ていたのが、今は4~5,000人しか来ていません。やはりこれは、何か不便があるからです。このままだと、どんどん高齢化が進む中で、もっとさびれて寂しいことになるのではないかという気持ちがあります。その辺は、実情に応じて何か今手をうつべきだというのが、テーマとして取上げた理由でしょう。

(酒井委員) 坂が上がれません。

(菅野委員) 盆踊りも止めました。

(庄司委員) モノレールは一つのきっかけです。夢見ヶ崎動物公園全体をどうしていくかというのは、いろいろな立場の人が話し合って合意して進めないと、こっちはいいけどこっちはいやだという事になります。そういう話し合いの場が必要なのではないでしょうか。

(酒井委員) 園長さんは、肉食の動物は飼っていませんと言っていました。そういう面も考え、市はどう考えているのか。職員も大変だと思います。そこに大勢来るようになれば、職員も増やそうという形にもなるでしょう。

(今井部会長) 意見は皆さん同じだと思います。見に行ったことも一つのきっかけで、こういう方策があるということもわかりました。区民の皆さんの意見、商店街さん、町内会さんの意見を汲みながら、もう少し活用していただける方策をできることからやっていきたいと思いますということではよろしいのではないのでしょうか。

(松脇委員) 不便なのか、どう思っているのか、今後どうしたいのかといったことを皆さんにアンケート

ートして、意見を吸い上げるとわかると思います。

□議題

1 「地域コミュニティ活動の推進」について

配布資料1「子育て・環境・魅力づくり部会 検討フロー図」に基づき、解決方法について意見交換をしました。

(今井部会長) 交通の便については、コミュニティバスという話がありましたが、その辺はまちづくり推進委員会で検討されていると思います。アクセスについては、一つの方策として飛鳥山を見てもらいました。私が先ほど言った、日吉出張所に電動車椅子のようなものを置いてもらってはどうかという話もありました。PRについては、「ゆめみニュース」を配布する場所を増やしたということがありましたね。

(事務局) 日吉町連の掲示板に貼らせていただきました。

(今井部会長) 先日、園長先生と話す機会があり、タウンニュースがシリーズで園の紹介を取り上げていただけそうだったということでした。うちの方の「幸タウンカフェ通信」でもコーナーを設けて記事を書いていただくことも検討しています。写真をコミュニティサイトに掲載するなど、できることはやろうと思っています。鹿島田駅を出たところに、掲示板があります。その横が川崎市のもので空いているので、ラックを置いてもらい、そこで「ゆめみニュース」や幸区のお知らせを置けないかと思いました。改札正面の地図の横です。

(沼田委員) 以前、まちづくり推進委員会で、鹿島田駅から区役所までの看板を設置しました。夢見ヶ崎動物公園までの看板を設置してもいいですが、歩くと結構な距離があります。

(今井部会長) 新川崎の中にも市の持っているスペースがあるなら、そこにもコーナーを作れると思いました。

(事務局) ペDESTリアンデッキは、川崎市建設局路政課で管理をしています。何かを置く場合、そこに申請することになります。基本的にラックを置くなどは、通行の妨げになるので認めてないということです。ただし、区民会議など政策的なものであれば、検討する余地はありますと言っていました。ただし、しっかりと固定した状態にしないとダメだと言っていました。

(今井部会長) 前回の区民会議の際に、議員の人が、市でやっているもの、区でやっているものが、学校に通っている人や勤めている人には行き渡らないと言っていました。市政だよりも見られていない現状もあるので、あそこに置いてもらうことは効果があるのではないかと。「ゆめみニュース」だけでなく、パンフレットなど、いろいろなことに使えるので、利用しない手はないと思います。

(事務局) 看板は、幸区役所地域振興課で路政課に申請を出し、許可を受けて立っています。そこに入れ物をつけることは、申請は必要ないということです。ただ、針金でつるすとかではなく、しっかりとした形で入れ物をつけるということです。

(菅野委員) そこに入れるピラなども管理しないといけなくなります。

(事務局) 区役所の入口を見てもらうとわかりますが、ピラは何十種類もあります。それをどう管理するか。何を置いて、何を置かないのか。誰かが置けば、他の人も置きますし、置いて欲しいといわれれば、これはいいけど、それはだめという形にはなりません。

(今井部会長) 私たちが話し合っていることに関して言えば、地図の下のところがあります。あの辺に「ゆめみニュース」を置くスペース作ってもらうことは、第一歩としてできそうな感じがしま

す。

(事務局) レッサーパンダの写真は、夢見ヶ崎動物園公園を案内しているのではなく、幸区の紹介です。この写真を更新するときに、地図を明示して夢見ヶ崎動物園を目立つように書くかということはあるでしょう。

(今井部会長) その右側に補助的なラックは作れないですか。

(事務局) 幸区の広報資料として、なぜ「ゆめみニュース」だけなのかということなんです。

(菅野委員) 区役所が設置するとなると、他の団体に対してどう答えるかですね。

(事務局) 他をお断りすることになります。載せるのは簡単ですが、お断りするのは非常に難しいです。

(今井部会長) 町内会の掲示板は、貼るのに基準がありますか。

(菅野委員) 町内会の掲示板は町内会の自主的なものですから、町内会がいいと言えば貼れます。

(事務局) 町内会に掲示してもらえませんかと区からお願いします。町内会の判断です。

(沼田委員) 宣伝になるようなものや、利益を求めるものはダメです。

(庄司委員) ラックとかが難しいなら、あの看板を改定するときに、夢見ヶ崎動物園はここですというポイントをするなどでしょう。冊子は駅に置いてもらうようお願いしてはどうですか。

(沼田委員) 夢見ヶ崎に来たいとか用事のある人は見ますが、地域の人はずんずん目にしません。

(菅野委員) 鹿島田駅から区役所に来るまでの道順案内を立てたんです。あれを一本立てるにも、土地が私有地か市有地かをチェックし、道交法上は大丈夫かなど、調査しないといけないので3年くらいかかりました。

(事務局) 今年度の事業で、夢見ヶ崎動物園の駅からの案内が弱いという声があるので、歩いて来る方が迷わずに行ける案内サインを設置します。このたび委託契約を結べそうで、予算も確保されていますので、資料の〇のついているあたりを中心に設置します。町内会にも話をし、町内会長さんにもご参加いただき、区民会議の委員の有志の方にも現地を歩いてもらい、確認をいただく作業を2、3回したいと思います。第1回目は10月中に実施したいと思います。

(今井部会長) 区民会議からは何名ですか。

(事務局) とくに何名というのは制限しません。メンバー固定ではないので、日程が合ってご参加いただける方はご参加ください。6箇所の入口をすべて網羅はしませんが、誘導として人を呼ぶサインになります。新川崎駅からも途中で設置します。

(菅野委員) 11月2日にまちづくり推進委員会の部会で、加瀬山の勉強会をします。動物園とは別にもう一度北加瀬を見直します。

(庄司委員) 日吉の「わっ」でも、11月15日に親子を対象に加瀬山探検をします。

(神谷副部会長) 11月29日の予定で、こども会でも夢見ヶ崎での写生会を企画しています。いろいろな場面で夢見ヶ崎に注目してもらいたいということで、活動を広げていくことも大事だと思います。

(庄司委員) 区民会議としてできることと、できないことがあります。区民会議は期限もありますし、方向性をこの中で打ち出す。実際その後、誰がどう見守っていくのかは、区民会議の中で検討しないといけないでしょう。

(菅野委員) 区民会議で皆さんの意見を聞いて、まちづくり推進委員会がその行動部隊にならないといけないよという話は出ます。区民会議は審議会ですから、市長や区長に提言する役割です。

その実働部隊として、まちづくり推進委員会で実践しないといけないというのが、11月2日のもとです。

(松脇委員) 全体会議には議員も出席しますから、川崎市にもPRできるのは区民会議です。まちづくり推進委員会ではできません。議会で一つのテーマとして取り組むように働きかけます。

(事務局) 先日の決算審査特別委員会の中で、山田議員が夢見ヶ崎動物公園の話をしていました。今この話の流れの中で、紹介いただいた事業については、夢見ヶ崎動物公園を題材にしてこういう活動をしていますということ、区民会議だよりなどで紹介させていただき、夢見ヶ崎ではこういう活動がされています、皆さんご参加くださいと紹介することは、区役所としてできます。

(今井部会長) フロー図ですが、アクセスをどうするかで、飛鳥山を視察に行きました。電動車椅子も区民の方から案が出ています。PRをどうするかについては、イベントや学習会で、地域コミュニティの場として活用します。区役所の方で、こういうことで活用しています、皆で活用していますというPRも考えていってはどうかという感じですね。交通の件は大きな話になります。公園管理はどういうことでしょうか。

(事務局) 課題を見ていただくと、管理が不十分だという話があります。園長からは、樹木の剪定を業者に依頼しているという話と、ボランティアの方に入ってもらっているという話がありました。そのところで、どういう管理がいいのかという話があります。園長先生と違う件でお会いしたときに話をしたのは、ボランティア活動を統合的に集めてこういう風に皆でやろうというのは難しいということです。皆さんの夢見ヶ崎に参加したいという気持ちを大切にしたい方がいいでしょう。自分はこのことができるので、この時間帯で参加をしたいと思っていますということ、夢見ヶ崎公園としては受け止め、しっかりと把握する。夢見ヶ崎に関っている方はこういう方たちですよと、決してコントロールするわけではないですが、勝手にいろいろな人たちがやるのではなく、何曜日この時間にはこういう方たちが管理をしていますということで、新しい人が何か参加をしたいというときに、ご紹介できるようなものがあるといいということです。皆が夢見ヶ崎に関っているよ、それを公園では分かっているよという受け止め方がいいのかなと話をしていました。そういう関わり方で、多くの人たちが関わっているという形を続けるのがいいのかと思います。

(松脇委員) 今のボランティアの皆さんが高齢化していますから、そういう風に発信していけば、若い世代の発掘にもつながりますね。

(今井部会長) 多くの方々が参加し管理しているので、もっと活性化するように何か考えようということですね。

(事務局) 夢見ヶ崎動物公園としてはそう考えているということです。皆さんの考え方もそういう方向でいいのであれば、一緒に考えていきたいと思います。と言っていただければ良いと思います。

(今井部会長) 今の状態をさらに進めて、他に何か公園の方からしていただいけませんかと要請があれば動いていく形でよろしいですね。交通の便は、バスの話が出ていました。まちづくり推進委員会でも検討しているんですね。

(菅野委員) 部会で出したけれど、難しい問題ばかり市役所から言われました。操作場跡地にターミナルができれば、それに伴って、幸地区のバスの運行、ルートの変更ができないかを検討します。幸区役所の建設問題が出ていますので、それと合わせて全区から区役所に来れるように、今走っているバスの路線変更で対応できないかと思っています。夢見ヶ崎動物公園前と北加瀬の谷戸の両方から上がるルートを考える。コミュニティバスを回そうと思ったけれど、いろ

いろな制約があってもどうしようもありません。それも頭に入れながら、路線変更を検討します。

(今井部会長) 思いつきですが、春と秋の動物公園まつりの時だけ、単発で何かできないかと考えています。駐車場も、操作場跡地を借りられそうです。ただで借りられるけれども、警備員を配置してくださいと言われる、その人件費が出ないと園長さんが言っていました。そのくらいのことなら、区民が望んでいるのならお手伝いできるかなという気がします。コミュニティバスや路線変更も視野に入れつつ、お祭りの年に2回だけ何かできないかと絞って考えるのもいいかと思いました。

(事務局) 解決方向についてもお話をだいぶいただきました。交通の便についても、今のお話ですとまちづくり推進委員会の検討を待って解決の方策を考える。それを見守るという感じでしょう。アクセスについては、長期的に考える。電動車椅子や短期的な方策を検討する。電動車椅子はどう管理すればいいのかわからないですが、先ほどは町内会で車椅子を支えているという話もありました。

(酒井委員) 社協の役員です。

(神谷副部会長) 社協も、私もボランティアでやっていますが、私くらいが若手です。なかなか大変なことは大変です。

(事務局) そこをどう広げていくかも課題ですね。

(今井部会長) 障害のある方が自分で電動車椅子で上がるそうです。ということは、一人でも上がれるのでしょうか。貸し出しが日吉出張所があれば、それを借りて上がる人もいるでしょう。

(事務局) ネットは、普通の日はいいですが、土日は駐車場が一杯です。出張所はやっていません。上がるにも、車がすごいです。

(松脇委員) 道も車椅子ではでこぼこで危険です。

(沼田委員) 普段乗りなれている人は乗れますが、初めての人は乗れません。

(事務局) PR のところでは、イベントの紹介ということで、区で何ができるか考えます。HP を活用するのは情報伝達が早いですし、チラシ類を施設に置くのもいいです。チラシはリアルタイムで配れないので、HP がいいでしょう。町内会の掲示板もタイミングを捉えないと難しいです。

(松脇委員) 内容が難しいですが、やはりアンケートをとる。われわれだけが考えるのではなく、住民からアンケートを取ることは、区民会議として行政と協力してできるのではないかと。どんな内容で、どうやるかは委員の間で検討しないとはいけません。ただ、聞かなくてはいけない気がします。

(菅野委員) 幸区の白書づくりのときに、全戸にハガキを3回まきましたが、回収は200~300通しかありませんでした。区役所で料金を出してもその程度です。逆に言うと、苦情のある人が見つかる可能性はあります。

(今井部会長) 年に1回の区民アンケートに盛り込むことはできませんか。

(事務局) 今年度ももう発送しました。入れるとなると来年度になります。来年度でも良いなら、入れることは可能です。今回のアンケートには、幸区で誇れるところ、知人を案内したいところはどこですかという設問をいれ、選択肢に夢見ヶ崎動物公園も入っています。おおよその集計は、年の初めくらいにわかるかも知れません。

(庄司委員) やはり区民会議で、夢見ヶ崎のことを検討しているといことを外に発信していく。ニュースやHPでもっとPRする必要があると思います。町内の人にも届いてないと思います。そ

の辺を検討の課題に入れて欲しいです。

2. その他

(1) 次回の日程

11月6日(金) 9時30分から 於：プレハブ会議室

(2) 川崎駅東口周辺総合自転車対策社会実験実施概要(11月7日(土)～20日(金))

実施概要について事務局が説明し、11月12日(木)に安全・安心・生きがい部会が現地視察をするので、都合のつく人は一緒に参加するよう呼びかけました。

以上